

600) ご隠居さんにもボケが来た

最近、友人たちが集ると、必ず老後の話、病気の話、そしてボケ話に花が散る。思えば遠くに来たもんだ。みんな70代になっちまった。若い頃は彼女の話に花が咲くこともあったが、もうさすがに、ばあさんの話をする輩もいない。孫の話は時折出ても、自慢話をする奴はとかく嫌われる。ボケの進んだ奴に限って自慢話が多くなるからだ。それに独り暮らしになった奴は、話が止まらなくなることが多い。小生はこれを『独居老人性多弁症』と呼んでいる。それもこれもみんな年のセイ・・・？ 悲しきはボケ話が現実の話になって、暮らしの潤滑油にならなくなったことである。以下の話は、なさそうでありそな現実のボケ話の数々である。